



複数の HX クラスタの設定

- [複数のクラスタの設定 \(1 ページ\)](#)

複数のクラスタの設定

複数の HyperFlex クラスタを同じ UCS ドメイン (ファブリック インターコネクトのペア) の下に共存させることができます。次のガイドラインに従い、ドメインに接続されているすべての機器に対して、スムーズに運用できるようにする必要があります。



- (注) 2つの異なる HX リリースの HX クラスタを同じ UCSM ドメインで使用する構成は、必要なサーバーファームウェアバンドルが UCSM インフラストラクチャリリースでサポートされている限りサポートされます。HXDP リリースは、リリースノートごとに UCSM サーバーファームウェアバンドルにマッピングされます。UCSM インフラストラクチャのリリースには依存しません。

推奨事項

- 標準 HXDP ライセンスを使用する場合、コンピューティング専用ノードの数は、コンバージドノードの数以下にする必要があります。エンタープライズ HXDP ライセンスでは、コンバージドノードに対して、最大 2:1 比のコンピューティングを使用できます。
- 新しい HyperFlex クラスタを作成するには、第 2 章に示されている要件をすべて満たしていることを確認してください。また、第 4 章に示されているプロセスに従ってください。
- HX クラスタのすべてのノードは、同じポリシーとサービスプロファイルを参照する必要があります。



- (注) HyperFlex サービスプロファイルテンプレートの編集は推奨されません。
- 各 HX クラスタの一意的な名前を割り当てます。

- 各 HX クラスタは、インストールの一部として固有のサブ組織に作成されます。この階層は、固有のポリシーがクラスタごとに作成されるようにするため、変更しないでください。
- 各クラスタは、固有のストレージデータ VLAN を使用して、すべてのストレージトラフィックを分離しておく必要があります。複数のクラスタにわたってこの VLAN を再利用することは推奨されません。
- Cisco では、ストレッチクラスタを含む、ファブリック インターコネクต์に接続されたクラスタごとに固有のストレージデータ VLAN が必要です。このような展開でのストレージデータへの共有 VLAN の使用は、クラスタの停止につながる可能性があるため、サポートされていません。

他の展開タイプでは、すべてのストレージトラフィックを分離しておくために、クラスタごとに一意のストレージデータ VLAN を使用することを強くお勧めします。複数のクラスタに同じストレージデータ VLAN を使用している場合は、適切なネットワーク分離を確認してください。適切なネットワーク分離なしで複数のクラスタで同じストレージデータ VLAN を使用することはサポートされていません。

- VLAN (管理およびゲスト トラフィック VLAN など) を再利用する場合は、UCSM にすでに存在していても、VLAN ごとに新しい固有の VLAN 名を作成します。これにより、そのドメイン内の他のクラスタやサーバが中断されることはなくなります。
- 互換性のある Cisco UCS Manager と Cisco HyperFlex リリースを選択していることを確認します。

最新の互換性マトリックスについては、『[Release Notes for Cisco HX Data Platform](#)』のソフトウェアバージョンの表を参照してください。

- 同じ Cisco HX データ プラットフォーム インストーラを使用して別の vCenter に 2 番目のクラスタを設定する前に、ブラウザのキャッシュをクリアしてください。これにより、古いクラスタの IP アドレスがキャッシュされ展開が失敗するなどの問題が回避されます。



(注) トラフィックに応じて、さらにアップリンク ポートを追加する必要がある場合があります。



(注) ファブリック インターコネクต์の同じペアに接続されている複数のクラスタ間で、同じ VLAN を使用することができます (管理、vMotion、VM ゲスト VLAN など)。これは、IP が重複しない限り可能です。ただし、ストレージトラフィックが安全に分離されるように、クラスタごとに HX ストレージ VLAN を異なる状態に保つことを推奨します。ベストプラクティスに対してストレージ VLAN を再利用する場合は、IP の重複を避けるために細心の注意をしてください。重複 IP があると、別のクラスタの既存のストレージトラフィックが中断される可能性があります。

ステップ 1 HX Data Platform インストーラにログインします。

ステップ 2 標準クラスタの [Create Cluster] ワークフローに従って、追加のクラスタを作成します。詳細については、[Cisco HyperFlex Systems の設定](#)を参照してください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。